

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（スポーツ振興課関連）

1	○スポーツ王国北海道事業費				
事業内容					
スポーツ機会の向上 【特定財源：toto助成金】					
①スポーツチャレンジ教室 本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎え、五輪種目や冬季種目を中心した体験型教室の開催		予算額	2,369	H30(2018)実績 チャレンジ教室 13会場 752名	
②ペアレンツスクール ・子どもの親を対象とした講習会を開催 ・講習会用ハンドブックの作成		予算額	289	ペアレンツスクール 5会場 157名	
③地域スポーツ支援事業 総合型クラブ育成の支援等のため、指導者養成事業などを実施 ・クラブマネジメント講習会の開催 ・全道スポーツ連携会議の開催 ・指導者派遣事業		予算額	1,057	・総合型SCカンファレンス ・スポーツネットワーク会議 札幌市 参加者延べ105名 ・指導者派遣事業 8市町 延べ8名を派遣	
発掘・育成					
④有望選手発掘・育成事業 【特定財源：toto助成金】 中高生を対象に有望選手を発掘・育成（カーリング、スケルトン、バイアスロンの3競技で実施） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施（個別プログラム、集合プログラム）		予算額	9,682	・セレクションの実施20名 ・地域育成 週3回 ・集合型育成月1回 ・合同合宿 延べ166名	
⑤ジュニアスポーツアスリート強化育成事業【拡充事業】 将来、トップ選手として活躍できる可能性のあるジュニア選手を育成・強化 ・夏季・冬季スポーツ競技別強化活動（公財）北海道スポーツ協会補助		予算額	24,626	・競技別強化活動 冬季競技で実施	
⑥パラアスリート発掘プロジェクト 【特定財源：toto助成金】 ・実行委員会（年2回） ・タレントスカウティング（特別支援学校等で発掘活動） ・測定会・体験会の開催（全道3会場） ・発掘選手を対象にセミナー開催（年2回）		予算額	7,210	・測定会・体験会 5会場 ・セミナー 3回	
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	45,233 千円	H30(2018)予算額	41,514 千円

2	○ラグビーワールドカップ2019地域交流等推進事業				
目 的：ラグビーワールドカップ2019大会に向け、野幌ラグビー場をオーストラリア代表チームの公認キャンプ地として整備する。					
事業内容					
区 分		内 容			
野幌ラグビー場整備		○野幌ラグビー場の整備 ・芝生維持管理 ・トレーニング機器整備 ・セキュリティ対策			
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	31,190 千円	H30(2018)予算額	37,000 千円

3	○地域スポーツコミッション推進事業費														
<p>目的：スポーツを通じた地域の活性化を促進するため、全道の各地域にスポーツコミッションを設立し、スポーツ大会や合宿誘致を全道に展開する。</p> <p>事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネットワーク会議</td> <td>○地域の実態を把握し、共有</td> </tr> <tr> <td>ストック調査</td> <td>○道内スポーツ施設ストック調査整理、公表・発信</td> </tr> <tr> <td>マッチング支援</td> <td>○全国競技団体と調整し、スポーツ大会・合宿を誘致</td> </tr> <tr> <td>SCアドバイザー委嘱</td> <td>○スポーツ精通人材の活用、地域等との調整</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	ネットワーク会議	○地域の実態を把握し、共有	ストック調査	○道内スポーツ施設ストック調査整理、公表・発信	マッチング支援	○全国競技団体と調整し、スポーツ大会・合宿を誘致	SCアドバイザー委嘱	○スポーツ精通人材の活用、地域等との調整
区 分	内 容														
ネットワーク会議	○地域の実態を把握し、共有														
ストック調査	○道内スポーツ施設ストック調査整理、公表・発信														
マッチング支援	○全国競技団体と調整し、スポーツ大会・合宿を誘致														
SCアドバイザー委嘱	○スポーツ精通人材の活用、地域等との調整														
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	3,651 千円	H30(2018) 予算額	5,476 千円										

4	○障がい者スポーツ振興費																																																	
<p>目的：障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、全国大会への選手派遣経費等に対し助成を行う。 (公財)北海道障がい者スポーツ協会補助)</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 名</th> <th>概 要 等</th> <th>予算額</th> <th>H30実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">大会開催事業</td> <td>北海道障害者スポーツ大会</td> <td>・大会規模：選手600名 ・競技数：7競技</td> <td>9,850</td> <td>開催地：岩見沢市他 参加選手：777名</td> </tr> <tr> <td>北海道障害者冬季スポーツ大会</td> <td>・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技</td> <td>1,557</td> <td>開催地：岩見沢市 参加選手：125名</td> </tr> <tr> <td>はまなす全国車いすハーフマラソン大会</td> <td>・大会規模：選手100名</td> <td>14,000</td> <td>開催地：札幌市 参加選手：94名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害者スポーツ指導者養成事業</td> <td>障害者スポーツ指導員養成講習</td> <td>・地域において障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成</td> <td>396</td> <td>受講者数：22名</td> </tr> <tr> <td>競技指導者研修事業</td> <td>・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し、競技規則、実技講習会を実施</td> <td>4,516</td> <td>受講者数：57名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">障害者スポーツ普及促進事業</td> <td>知的障害者スポーツ教室</td> <td>・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導</td> <td>361</td> <td></td> </tr> <tr> <td>身体障害者スポーツ教室</td> <td>・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導</td> <td>293</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神障害者スポーツ教室</td> <td>・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導</td> <td>368</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ普及振興事業</td> <td></td> <td>・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興</td> <td>586</td> <td>障がい者スポーツの普及促進</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	事 業 名	概 要 等	予算額	H30実績	大会開催事業	北海道障害者スポーツ大会	・大会規模：選手600名 ・競技数：7競技	9,850	開催地：岩見沢市他 参加選手：777名	北海道障害者冬季スポーツ大会	・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技	1,557	開催地：岩見沢市 参加選手：125名	はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・大会規模：選手100名	14,000	開催地：札幌市 参加選手：94名	障害者スポーツ指導者養成事業	障害者スポーツ指導員養成講習	・地域において障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	受講者数：22名	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し、競技規則、実技講習会を実施	4,516	受講者数：57名	障害者スポーツ普及促進事業	知的障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361		身体障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293		精神障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368		障害者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進
区 分	事 業 名	概 要 等	予算額	H30実績																																														
大会開催事業	北海道障害者スポーツ大会	・大会規模：選手600名 ・競技数：7競技	9,850	開催地：岩見沢市他 参加選手：777名																																														
	北海道障害者冬季スポーツ大会	・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技	1,557	開催地：岩見沢市 参加選手：125名																																														
	はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・大会規模：選手100名	14,000	開催地：札幌市 参加選手：94名																																														
障害者スポーツ指導者養成事業	障害者スポーツ指導員養成講習	・地域において障がい者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	受講者数：22名																																														
	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し、競技規則、実技講習会を実施	4,516	受講者数：57名																																														
障害者スポーツ普及促進事業	知的障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361																																															
	身体障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293																																															
	精神障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368																																															
障害者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査・研究、地方障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者スポーツの普及促進																																														
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	31,927 千円	H30(2018) 予算額	44,017 千円																																													

5	○全国障害者スポーツ大会派遣事業費														
<p>目的：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先：(公財)北海道障がい者スポーツ協会]</p> <p>補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費等)を、(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大会名称</td> <td>第19回全国障害者スポーツ大会</td> </tr> <tr> <td>開催地</td> <td>茨城県</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>令和元年(2019年)10月12日～14日(4日間)</td> </tr> <tr> <td>競技種目</td> <td>13競技(個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技)バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	大会名称	第19回全国障害者スポーツ大会	開催地	茨城県	開催期間	令和元年(2019年)10月12日～14日(4日間)	競技種目	13競技(個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技)バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー
区 分	内 容														
大会名称	第19回全国障害者スポーツ大会														
開催地	茨城県														
開催期間	令和元年(2019年)10月12日～14日(4日間)														
競技種目	13競技(個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技)バスケットボール、車椅子バスケットボール、ソフトボール、グラウンドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー														
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	19,718 千円	H30(2018) 予算額	12,090 千円										

6	○2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業												
<p>目的：2020年に全都道府県で実施される東京オリパラ聖火リレーの成功へ向け、聖火ルートの詳細ルート選定やランナー公募等を行うとともに、東京オリパラに向けた道内機運の醸成を図る。</p> <p>事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>聖火リレールート選定等</td> <td>○警備計画策定、ランナー公募</td> </tr> <tr> <td>開催記念イベント</td> <td>○道内5圏域主要都市で実施</td> </tr> <tr> <td>シ テ ィ 装 飾</td> <td>○新千歳空港にオリパラ装飾</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	聖火リレールート選定等	○警備計画策定、ランナー公募	開催記念イベント	○道内5圏域主要都市で実施	シ テ ィ 装 飾	○新千歳空港にオリパラ装飾
区 分	内 容												
聖火リレールート選定等	○警備計画策定、ランナー公募												
開催記念イベント	○道内5圏域主要都市で実施												
シ テ ィ 装 飾	○新千歳空港にオリパラ装飾												
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	68,500 千円	H30(2018) 予算額	10,000 千円								

7	○北海道スポーツ表彰																																																																										
<p>目的：スポーツの振興に寄与したものと及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。</p> <p>過去の受賞者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22 (2010)</th> <th>H23 (2011)</th> <th>H24 (2012)</th> <th>H25 (2013)</th> <th>H26 (2014)</th> <th>H27 (2015)</th> <th>H28 (2016)</th> <th>H29 (2017)</th> <th>H30 (2018)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツの振興に寄与した者</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>24</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>20</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>特別表彰</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	スポーツの振興に寄与した者	4	4	3	3	2	4	4	5	5	スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	10	20	6	4	24	6	4	15	26	スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	2	2	6	2	3	1	2	—	—	合 計	16	26	15	9	29	11	11	20	31	特別表彰	2	—	—	—	—	—	—	—	—	スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)	4	1	2	4	2	1	7	4	4
区 分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)																																																																		
スポーツの振興に寄与した者	4	4	3	3	2	4	4	5	5																																																																		
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	10	20	6	4	24	6	4	15	26																																																																		
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	2	2	6	2	3	1	2	—	—																																																																		
合 計	16	26	15	9	29	11	11	20	31																																																																		
特別表彰	2	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																		
スポーツ奨励賞 (H20 (2008) 新設)	4	1	2	4	2	1	7	4	4																																																																		
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	305 千円	H30(2018) 予算額	305 千円																																																																						

8	○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費				
<p>目的：H22(2010).10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。</p> <p>1 事業概要 ○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。</p> <p>2 事業内容 (北海道) 選手受け入れ(ソウル国際マラソン出場者2名程度招待) ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞等を出賞 (ソウル) 選手受派遣(2名程度派遣) ソウル特別市長賞出賞</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	458 千円	H30(2018) 予算額	509 千円

9	○スポーツ競技力向上推進費補助金				
<p>概要：(公財)北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>《事業内容》</p>					
事業名		事業内容	実施規模 R1(2019)	予算額	H30(2018)実績
指定強化指導者研修会		・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	50種目 130人	1,666	参加指導者115人 札幌市
選手強化事業	ジュニア 道内合宿	・1年を通じて実施される道内の合宿	50種目 1,150人	57,767	47種目 延べ176回 選手3,030人
	強化合宿 道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人		26種目 延べ50回 選手589人
	有望選手活動支援	・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり 20万円		対象8人
競技団体育成事業		・競技力向上推進委員会		125	2回
スポーツ医・科学トータルサポート事業		・合宿地・国体会場等での医科学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営(調査研究)	3種目 (陸上、柔道、バドミントン)	5,473	14種目 サポートスタッフ述べ14人
合計				65,031	
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	65,031 千円	H30(2018) 予算額	65,031 千円

10	○スポーツ団体活動費補助金				
<p>目的：本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、(公財)北海道スポーツ協会が行う事業に補助する。 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>					
事業名		内 容	予算額	H30(2018)実績	
国民体育大会運営事業		①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	671	北海道予選会 39競技団体	
競技団体育成事業		①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	455	助成10団体	
スポーツ指導員養成事業		①スポーツ指導者フック研究会 4会場 ②人件費	2,569	道内4会場 参加者172人	
スポーツ少年団育成事業		①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	500	参加者57人	
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	4,010 千円	H30(2018) 予算額	4,195 千円

11	○国民体育大会派遣費				
<p>目的：(公財)北海道スポーツ協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費・用具輸送費)を、(公財)北海道スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。</p> <p>事業概要 令和元年度(2019年度)派遣者数 1,086人(役員12名、選手・監督1,074人) (平成30年度(2018年度)派遣者数実績(1,044人(役員31人、選手・監督1,013人))</p>					
区 分		第74回大会	第75回大会		
		本大会	冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)	
開催地(主会場)		茨城県	青森県	富山県	
開催期間		R1(2019) 9.28~10.8(11日間)*	R1(2019) 1.29~2.2(5日間)	R1(2019) 2.16~2.19(4日間)	
実施競技数		37公式競技・5公開競技	2公式競技	1公式競技	
派遣人員		874人	90人	70人	
* フロック大会及び予選会28人					
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	75,710千円	H30(2018) 予算額	97,110千円

12	○札幌ドーム整備費補助金				
<p>目的：札幌市が建設した全天候型多目的施設（札幌ドーム）は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。 [補助金交付先：札幌市]</p> <p>事業内容：助成総額 100億円を限度 建設時(H10(1998)～H12(2000))各4億円 償還時(H13(2001)～R13(2031))各年度 負担額の範囲内</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	138,000千円	H30(2018) 予算額	138,000千円

13	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金				
<p>目的：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、釧路市が建設した湿原の風アリーナ及び帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。 [補助金交付先：釧路市、帯広市]</p> <p>事業内容：起債償還に対する補助 釧路市 (H21(2008)～R 5(2023)) 帯広市 (H22(2009)～R11(2029))</p>					
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	78,226千円	H30(2018) 予算額	78,637千円

14	○北海道立総合体育センター管理運営費														
<p>目的：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北海道スポーツ協会]</p> <p>施設概要等</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1</td> </tr> <tr> <td>主な施設</td> <td>メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>(公財)北海道スポーツ協会</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022)3月31日(4年間)</td> </tr> </table>						施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）	所在地	札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1	主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室	指定管理者	(公財)北海道スポーツ協会	指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022)3月31日(4年間)
施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）														
所在地	札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1														
主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室														
指定管理者	(公財)北海道スポーツ協会														
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022)3月31日(4年間)														
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	305,603千円	H30(2018) 予算額	313,898千円										

15	○北海道立北見体育センター管理運営費														
<p>目的：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理業務を指定管理者へ委託する。 [委託先：(公財)北見市体育協会]</p> <p>施設概要等</p> <table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>北見市東陵町27 東陵運動公園内</td> </tr> <tr> <td>主な施設</td> <td>アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>(公財)北見市体育協会</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日(4年間)</td> </tr> </table>						施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）	所在地	北見市東陵町27 東陵運動公園内	主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室	指定管理者	(公財)北見市体育協会	指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日(4年間)
施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）														
所在地	北見市東陵町27 東陵運動公園内														
主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室														
指定管理者	(公財)北見市体育協会														
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日(4年間)														
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	59,956千円	H30(2018) 予算額	59,803千円										

16	○北見体育センター費（施設建設事業費）																								
<p>目的：道立北見体育センターの適切な維持保全を図るため、設備の老朽箇所について、必要改修等を行う。</p> <p>工事スケジュール</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28(2016)</td> <td>H29(2017)</td> <td>H30(2018)</td> <td>R 1 (2019)</td> </tr> <tr> <td>暖房衛生設備改修工事</td> <td>実施設計</td> <td>改修工事</td> <td>改修工事</td> <td>改修工事</td> </tr> <tr> <td>電気設備改修工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>実施設計</td> <td>改修工事</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>実施設計、改修工事</td> <td>改修工事</td> </tr> </table>							H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R 1 (2019)	暖房衛生設備改修工事	実施設計	改修工事	改修工事	改修工事	電気設備改修工事	—	—	実施設計	改修工事	外壁改修工事	—	—	実施設計、改修工事	改修工事
	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R 1 (2019)																					
暖房衛生設備改修工事	実施設計	改修工事	改修工事	改修工事																					
電気設備改修工事	—	—	実施設計	改修工事																					
外壁改修工事	—	—	実施設計、改修工事	改修工事																					
担当課	スポーツ振興課	R 1 (2019) 予算額	317,877千円	H30(2018) 予算額	227,630千円																				

17	○総合体育センター費（施設建設事業費）				
<p>目的：道立総合体育センターの長期保全化を図るため、主要施設（メインアリーナ床、サブアリーナ床）の改修を行う。</p> <p>工事スケジュール H30(2018) 実施設計 R1(2019)、R3(2021) 改修工事</p>					
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	132,464千円	H30(2018) 予算額	9,688千円

18	○障がい者スポーツ推進事業費												
<p>目的：国が実施する補助事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」を受託し、障がい者の継続的なスポーツ実施促進に向け、スポーツの環境整備等を図る。</p> <p>事業内容 ○障がい者の継続的なスポーツ実施促進に向けて、身近な場所でスポーツを実施できる環境整備を図る。 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実行委員会</td> <td>○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定（年2回） [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等</td> </tr> <tr> <td>パラスポ 運 動 会</td> <td>○パラスポーツの他種目体験イベント（運動会）の実施（年1回） [実施地域] 1地域（実行委で選定） [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー</td> </tr> <tr> <td>パラスポ 倶 楽 部</td> <td>○障がい者参加型イベント等の実施（月1回×3ヶ月） [実施地域] 1地域（総合型地域スポーツクラブ） [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど</td> </tr> </tbody> </table>						区分	内 容	実行委員会	○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定（年2回） [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等	パラスポ 運 動 会	○パラスポーツの他種目体験イベント（運動会）の実施（年1回） [実施地域] 1地域（実行委で選定） [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー	パラスポ 倶 楽 部	○障がい者参加型イベント等の実施（月1回×3ヶ月） [実施地域] 1地域（総合型地域スポーツクラブ） [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど
区分	内 容												
実行委員会	○事業計画の検討及び実践地域・スポーツクラブの選定（年2回） [構成] 道、道体協、道障がい者スポーツ協会、道文化財団、プロスポーツチーム等												
パラスポ 運 動 会	○パラスポーツの他種目体験イベント（運動会）の実施（年1回） [実施地域] 1地域（実行委で選定） [内 容] 車いすバスケット、ボッチャなどを障がい者と健常者が一緒にプレー												
パラスポ 倶 楽 部	○障がい者参加型イベント等の実施（月1回×3ヶ月） [実施地域] 1地域（総合型地域スポーツクラブ） [内 容] 障がい者と健常者が一緒に行うフィットネスなど												
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	3,400 千円	H30(2018) 予算額	8,400 千円								

19	○公立社会教育施設災害復旧都道府県事務費交付金				
<p>目的：平成30年度北海道胆振東部地震で被災した公立社会教育施設の災害復旧補助事業（市町村事業）に対する補助申請に要する経費。</p> <p>事業内容：復旧事業計画書作成に係る事務 補助額査定（現地調査等）に係る事務 調査報告書作成に係る事務</p> <p>関係市町村：厚真町、安平町、むかわ町</p>					
担当課	スポーツ振興課	R1(2019) 予算額	1,743 千円	H30(2018) 予算額	—

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

20	○北海道未来人材応援事業										
<p>目的：本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。</p> <p>事業の概要 [スポーツコースの概要] ※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の3コースがあります。</p> <p>1 主な支援対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 北海道在住の18歳から39歳の方 ・対象 3～12ヶ月の海外研修 ・人数 若干名 <p>2 主な支援内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 30%;">滞在費（定額）</td> <td style="width: 30%;">12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>往復渡航費（定額）</td> <td>10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)</td> </tr> <tr> <td>授業料、研修費、入学金等</td> <td>上限30万円</td> </tr> </table> <p>3 平成30年度（2018年度）実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコース 2名 <p>4 その他 令和元年度（2019年度）の募集は終了しました。 令和2年度（2020年度）以降の募集要項等詳細は、令和2年（2020年）3月頃、道ホームページに掲載予定です。 ※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。</p>						滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)	往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)	授業料、研修費、入学金等	上限30万円
滞在費（定額）	12万円/月又は16万円/月 (派遣先地域により変動)										
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円 (派遣先地域により変動)										
授業料、研修費、入学金等	上限30万円										
担当課	総合教育推進室	R 1 (2019) 予算額	9,000 千円	H 30 (2018) 予算額	9,000 千円						

21	○北海道・ロシア連邦地域間協力キックオフ事業														
<p>1. 青少年（スポーツ）交流（2,688千円）</p> <p>目的：日露首脳会談、サハリン州知事との会談等の結果を踏まえ、ロシア極東地域及び欧露部等との交流に取り組むことにより、日露の幅広い関係強化につなげる。</p> <p>事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 15%;">時期</th> <th style="width: 20%;">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年（スポーツ）交流</td> <td>派遣</td> <td>サハリン州への格闘技等選手団の派遣</td> <td>未定</td> <td>サハリン</td> </tr> </tbody> </table>							区分	内容	時期	場所	青少年（スポーツ）交流	派遣	サハリン州への格闘技等選手団の派遣	未定	サハリン
	区分	内容	時期	場所											
青少年（スポーツ）交流	派遣	サハリン州への格闘技等選手団の派遣	未定	サハリン											
担当課	国際課	R 1 (2019) 予算額	2,688千円	H 30 (2018) 予算額	21,994 千円										

22	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）				
<p>目的：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。</p> <p>事業内容</p>					
(1) ハード系事業					
交付対象事業	・スポーツ振興事業 (屋内スポーツ施設整備事業、屋外スポーツ施設整備事業、総合体育館整備事業) など*				
交付対象者	交付対象者			上限額	下限額
交付限度額	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・一部事務組合、広域連合 			1億円 2億円	500万円
(2) ソフト系事業					
交付対象事業	・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業) など*				
交付対象者	交付対象者			上限額	下限額
交付限度額	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村 ・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等 ・総合振興局長・振興局長が適当と認める者 			500万円 1,000万円 300万円	50万円 10万円
※交付対象事業について、振興局においてメニューを設定					
担当課	地域振興局 地域政策課	R 1 (2019) 予算額	4,250,000千円 (地域づくり推進事業分)	H30(2018) 予算額	4,300,000千円 (地域づくり推進事業分)

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（環境生活部関連）

23	○文化振興事業費（地域メディア芸術推進事業費）																																																																																																																						
<p>【概要】 著名な漫画家等を数多く輩出している本道の優位性を活かし、まんが・アニメ文化の振興を図り、観光客の一層の誘致やコンテンツ関連産業の育成などに繋げるため、まんが・イラストの公募コンテスト「北のまんが大賞」を実施。 第4回目となる令和元年度は、イラスト部門の募集テーマを「北海道に拠点を置くプロスポーツ」として、北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスポラーダ北海道、ヴォレアス北海道に関するイラストを募集予定。</p> <p>【事業概要】 ○第4回北のまんが大賞 <募集期間> 令和元年（2019年）5月～9月（予定）</p> <p><募集部門及び募集テーマ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部門</th> <th>募集テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まんが部門</td> <td>北海道を素材とした、北海道の魅力アップにつながる作品</td> </tr> <tr> <td>イラスト部門</td> <td>北海道に拠点を置くプロスポーツ（北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスポラーダ北海道、ヴォレアス北海道）をテーマとしたイラスト作品</td> </tr> </tbody> </table> <p><賞></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>賞/部門</th> <th>まんが部門</th> <th>イラスト部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道知事賞</td> <td>1作品 賞状・賞金10万円</td> <td>1作品 賞状・賞金10万円</td> </tr> <tr> <td>札幌市長賞</td> <td>1作品 賞状・賞金5万円</td> <td>1作品 賞状・賞金5万円</td> </tr> <tr> <td>優秀デジタル作品賞</td> <td>1作品 賞状・賞金3万円</td> <td>1作品 賞状・賞金3万円</td> </tr> <tr> <td>特別賞</td> <td>2作品 賞状・賞金3万円</td> <td>2作品 賞状・賞金3万円</td> </tr> <tr> <td>U-15北海道知事賞</td> <td>1作品 賞状・図書カード1万円分</td> <td>1作品 賞状・図書カード1万円分</td> </tr> <tr> <td>U-15札幌市長賞</td> <td>1作品 賞状・図書カード7千円分</td> <td>1作品 賞状・図書カード7千円分</td> </tr> <tr> <td>U-15特別賞</td> <td>2作品 賞状・図書カード5千円分</td> <td>2作品 賞状・図書カード5千円分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他、協賛企業より賞品を贈呈予定。</p> <p><審査員></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>まんが部門</td> <td>いがらしゆみこ、いがらしなおみ、中山昌亮、渡辺カナ、鴨修平、出版社、書店員 など</td> </tr> <tr> <td>イラスト部門</td> <td>佐藤正人、いがらしなおみ、谷本智之 など</td> </tr> </tbody> </table> <p><実施体制></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>主催</td> <td>北海道、札幌市</td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td>北海道MANGA交流会、(株)ワコム、(社福)北海道共同募金会、(有)エアードライブ、(株)三省堂書店、(株)シーピーツアーズ、(株)エクステザイン、(株)北海道日本ハムファイターズ、(株)コンサドーレ、(株)レバンガ北海道、(一社)エスポラーダ北海道スポーツクラブ、(株)VOREAS</td> </tr> <tr> <td>協賛</td> <td>大丸藤井セントラル(株)、(株)伊達観光物産公社、(株)セルシス</td> </tr> <tr> <td>後援</td> <td>北海道新聞社、(公社)日本漫画家協会、少年サンデー（小学館）、Sho-Comi（小学館）、月刊少年シリウス（講談社）、Kiss（講談社）、エレガンスイブ（秋田書店）、月刊ビッグガンガン（スクウェア・エニックス）、ガンガンONLINE（スクウェア・エニックス）、COMIC BRIDGE online（KADOKAWA）、ヤングキングアワーズ（少年画報社）</td> </tr> </tbody> </table> <p><入賞作品発表> 令和2年（2020年）1月（予定）</p> <p>【H30年（2018年度）度実績】 ○第3回北のまんが大賞実施結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>募集期間</th> <th colspan="6">平成30年（2018年）5月18日～10月1日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募作品数</td> <td colspan="6">116作品</td> </tr> <tr> <td>まんが</td> <td colspan="6">48作品</td> </tr> <tr> <td>イラスト</td> <td colspan="6">68作品（H30年度の募集テーマは「北海道150年を記念するにふさわしいイラスト」）</td> </tr> <tr> <td>応募者年齢層 （平均年齢 まんが 31.3歳 イラスト 30.0歳）</td> <td></td> <td>～10歳代</td> <td>20歳代</td> <td>30歳代</td> <td>40歳代</td> <td>50歳代</td> <td>60歳代～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まんが</td> <td>19名</td> <td>12名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イラスト</td> <td>24名</td> <td>15名</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>9名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>応募者居住地</td> <td></td> <td colspan="2">道内（うち札幌市内）</td> <td colspan="3">道外</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まんが</td> <td colspan="2">46名（27名）</td> <td colspan="3">2名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イラスト</td> <td colspan="2">55名（29名）</td> <td colspan="3">13名</td> </tr> </tbody> </table>					部門	募集テーマ	まんが部門	北海道を素材とした、北海道の魅力アップにつながる作品	イラスト部門	北海道に拠点を置くプロスポーツ（北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスポラーダ北海道、ヴォレアス北海道）をテーマとしたイラスト作品	賞/部門	まんが部門	イラスト部門	北海道知事賞	1作品 賞状・賞金10万円	1作品 賞状・賞金10万円	札幌市長賞	1作品 賞状・賞金5万円	1作品 賞状・賞金5万円	優秀デジタル作品賞	1作品 賞状・賞金3万円	1作品 賞状・賞金3万円	特別賞	2作品 賞状・賞金3万円	2作品 賞状・賞金3万円	U-15北海道知事賞	1作品 賞状・図書カード1万円分	1作品 賞状・図書カード1万円分	U-15札幌市長賞	1作品 賞状・図書カード7千円分	1作品 賞状・図書カード7千円分	U-15特別賞	2作品 賞状・図書カード5千円分	2作品 賞状・図書カード5千円分	まんが部門	いがらしゆみこ、いがらしなおみ、中山昌亮、渡辺カナ、鴨修平、出版社、書店員 など	イラスト部門	佐藤正人、いがらしなおみ、谷本智之 など	主催	北海道、札幌市	協力	北海道MANGA交流会、(株)ワコム、(社福)北海道共同募金会、(有)エアードライブ、(株)三省堂書店、(株)シーピーツアーズ、(株)エクステザイン、(株)北海道日本ハムファイターズ、(株)コンサドーレ、(株)レバンガ北海道、(一社)エスポラーダ北海道スポーツクラブ、(株)VOREAS	協賛	大丸藤井セントラル(株)、(株)伊達観光物産公社、(株)セルシス	後援	北海道新聞社、(公社)日本漫画家協会、少年サンデー（小学館）、Sho-Comi（小学館）、月刊少年シリウス（講談社）、Kiss（講談社）、エレガンスイブ（秋田書店）、月刊ビッグガンガン（スクウェア・エニックス）、ガンガンONLINE（スクウェア・エニックス）、COMIC BRIDGE online（KADOKAWA）、ヤングキングアワーズ（少年画報社）	募集期間	平成30年（2018年）5月18日～10月1日						応募作品数	116作品						まんが	48作品						イラスト	68作品（H30年度の募集テーマは「北海道150年を記念するにふさわしいイラスト」）						応募者年齢層 （平均年齢 まんが 31.3歳 イラスト 30.0歳）		～10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代～		まんが	19名	12名	3名	4名	4名	6名		イラスト	24名	15名	8名	9名	9名	3名	応募者居住地		道内（うち札幌市内）		道外				まんが	46名（27名）		2名				イラスト	55名（29名）		13名		
部門	募集テーマ																																																																																																																						
まんが部門	北海道を素材とした、北海道の魅力アップにつながる作品																																																																																																																						
イラスト部門	北海道に拠点を置くプロスポーツ（北海道日本ハムファイターズ、北海道コンサドーレ札幌、レバンガ北海道、エスポラーダ北海道、ヴォレアス北海道）をテーマとしたイラスト作品																																																																																																																						
賞/部門	まんが部門	イラスト部門																																																																																																																					
北海道知事賞	1作品 賞状・賞金10万円	1作品 賞状・賞金10万円																																																																																																																					
札幌市長賞	1作品 賞状・賞金5万円	1作品 賞状・賞金5万円																																																																																																																					
優秀デジタル作品賞	1作品 賞状・賞金3万円	1作品 賞状・賞金3万円																																																																																																																					
特別賞	2作品 賞状・賞金3万円	2作品 賞状・賞金3万円																																																																																																																					
U-15北海道知事賞	1作品 賞状・図書カード1万円分	1作品 賞状・図書カード1万円分																																																																																																																					
U-15札幌市長賞	1作品 賞状・図書カード7千円分	1作品 賞状・図書カード7千円分																																																																																																																					
U-15特別賞	2作品 賞状・図書カード5千円分	2作品 賞状・図書カード5千円分																																																																																																																					
まんが部門	いがらしゆみこ、いがらしなおみ、中山昌亮、渡辺カナ、鴨修平、出版社、書店員 など																																																																																																																						
イラスト部門	佐藤正人、いがらしなおみ、谷本智之 など																																																																																																																						
主催	北海道、札幌市																																																																																																																						
協力	北海道MANGA交流会、(株)ワコム、(社福)北海道共同募金会、(有)エアードライブ、(株)三省堂書店、(株)シーピーツアーズ、(株)エクステザイン、(株)北海道日本ハムファイターズ、(株)コンサドーレ、(株)レバンガ北海道、(一社)エスポラーダ北海道スポーツクラブ、(株)VOREAS																																																																																																																						
協賛	大丸藤井セントラル(株)、(株)伊達観光物産公社、(株)セルシス																																																																																																																						
後援	北海道新聞社、(公社)日本漫画家協会、少年サンデー（小学館）、Sho-Comi（小学館）、月刊少年シリウス（講談社）、Kiss（講談社）、エレガンスイブ（秋田書店）、月刊ビッグガンガン（スクウェア・エニックス）、ガンガンONLINE（スクウェア・エニックス）、COMIC BRIDGE online（KADOKAWA）、ヤングキングアワーズ（少年画報社）																																																																																																																						
募集期間	平成30年（2018年）5月18日～10月1日																																																																																																																						
応募作品数	116作品																																																																																																																						
まんが	48作品																																																																																																																						
イラスト	68作品（H30年度の募集テーマは「北海道150年を記念するにふさわしいイラスト」）																																																																																																																						
応募者年齢層 （平均年齢 まんが 31.3歳 イラスト 30.0歳）		～10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代～																																																																																																																
	まんが	19名	12名	3名	4名	4名	6名																																																																																																																
	イラスト	24名	15名	8名	9名	9名	3名																																																																																																																
応募者居住地		道内（うち札幌市内）		道外																																																																																																																			
	まんが	46名（27名）		2名																																																																																																																			
	イラスト	55名（29名）		13名																																																																																																																			
担当課	文化振興課	R1（2019）予算額	1,523千円																																																																																																																				

24	○民族共生象徴空間誘客促進・地域連携事業費				
<p>目的：2020東京オリパラ大会にあわせた民族共生象徴空間の一般公開に向け、道内外の機運醸成を図るとともに、インバウンドなど国内外からの誘客促進を図る。</p> <p>事業内容 (単位：千円)</p>					
目 標		区 分	内 容		
機運醸成	-	アンバサダー委嘱	・各種イベント・広告媒体への出演		
		カウントダウンイベント	・開業100日前イベント(R2.1~2月) [札幌]		
		アイヌ文化発信プログラム	・東京オリパラ開会式等での披露に向けた取組み		
		アイヌ文化情報発信強化	・アイヌ文化研究成果や知識の普及		
修学旅行生	延べ7万人	日本縦断PRキャラバン	・道内外での象徴空間PRイベントの実施 [場所：札幌、旭川、函館、新千歳、名古屋、大阪、東京]		
国内旅行者	延べ35~50万人	観光団体連携強化	・象徴空間地域と他地域の観光客の相互誘引		
訪日外国人旅行者	延べ40~60万人	海外への情報発信	・海外7カ国・地域における北海道の食・観光・アイヌ文化・象徴空間のPR [場所：北米、ハワイ、中国、台湾、ASEAN、イギリス、カナダ]		
合 計	延べ100万人				
担当課	アイヌ政策課	R 1 (2019) 予算額	416,635 千円	H30(2018) 予算額	430,580 千円

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

25	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
<p>目的：介護予防の観点から、高齢者の各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。</p> <p>事業内容 （単位：千円）</p>					
項目		内容		H30(2018)実績	
高齢者の社会活動についての啓発及び普及啓発事業費		情報誌		2,100部	
高齢者のスポーツ・健康づくり地域活動等推進組織づくり事業費		全道高齢者スポーツ等大会の開催、全国健康福祉祭への選手派遣等		12種目に助成 全国へは134名派遣	
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業費		高齢指導者（シニアリーダー）の育成		81名の指導者登録	
仲間づくり支援事業費		生きがいネットワークづくりの支援		2圏域で20回、講演会、自主事業の支援を実施	
老人週間事業費		全道高齢者作品展の開催、老人週間啓発事業		作品展の実施	
担当課	高齢者保健福祉課	R1(2019)予算額	36,985千円	H30(2018)予算額	40,020千円

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

26	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費														
<p>【目的・概要】 アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定証書等の作成・交付 ・ 試験実施状況等の確認 ○ 資格制度の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格制度推進委員会の開催 ○ 資格制度の普及PR <p>【平成30年度（2018年度）実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格認定等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">区分</th> <th style="width: 20%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトドアガイド資格新規認定</td> <td style="text-align: center;">33件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド資格更新認定</td> <td style="text-align: center;">136件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド検定合格認定</td> <td style="text-align: center;">8件</td> </tr> <tr> <td>アウトドア講習修了認定</td> <td style="text-align: center;">57件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 試験等実施状況の確認 ガイド資格：更新時講習1回</p>						区分	件数	アウトドアガイド資格新規認定	33件	アウトドアガイド資格更新認定	136件	アウトドアガイド検定合格認定	8件	アウトドア講習修了認定	57件
区分	件数														
アウトドアガイド資格新規認定	33件														
アウトドアガイド資格更新認定	136件														
アウトドアガイド検定合格認定	8件														
アウトドア講習修了認定	57件														
担当課	観光局	R1(2019)予算額	389 千円	H30(2018)予算	391 千円										

27	○北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業										
<p>【目的・概要】 訪日外国人観光客の旅行形態は、団体旅行から個人旅行へと変化する、その趣向やニーズは多様化。日本国内の他地域に比べ、本道に優位性のあるスポーツを核としたツーリズムの振興を図ることで、新たな本道の旅の魅力を創出し、安定的に外国人来同者を増加させる。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本道は、夏期の冷涼な気候や冬期のパウダースノーなど、日本国内の他地域と比べ、スポーツツーリズムの推進に適した地域である。 ○今後、大型のスポーツイベント（2019年ラグビーW杯、2020年東京夏季五輪）の開催が予定されており、外国人が日本に目を向け、大きなチャンスが到来している。これに合わせ、本道のスポーツツーリズムを振興することにより、外国人来道者の増加を図る。 ○北海道の代表的な観光資源である食と自然に加え、スポーツの場としての北海道をPRすることにより、新たな観光資源を創出し、スポーツを観光資源として外国人観光客の誘致を推進する地域と一体となって誘致活動を行う。 ○加えて、オーストラリア領事館より、豪州のプロゴルファーを活用した道内ゴルフ場への誘致や、豪州の名門ゴルフ場と道内ゴルフ場のフレンドシップ契約締結など、誘客に向けた様々な提案を受けており、これらをオーストラリア領事館と連携して取り組むことで、豪州からのインバウンド増加が確実に見込める。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%; vertical-align: top;"> 【スキー】 豪州 中国 米英 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○スキーイベント開催（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各国販売店等で、道内スキーリゾートをPR ○セミナー・商談会（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会等にて道内スキーリゾート等のPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内スキー場に海外メディアを招聘、PR </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊×3言語 ○サイクリングイベント等出典（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コースのPR </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【マラソン】 台湾 中国 香港 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ (3,000冊×2言語) ○現地マラソン大会出展（1ヶ国（台湾）） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地大会にブースを出展し道内大会をPR ○メディア招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コース等をPR </td> </tr> </tbody> </table>						【スキー】 豪州 中国 米英	<ul style="list-style-type: none"> ○スキーイベント開催（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各国販売店等で、道内スキーリゾートをPR ○セミナー・商談会（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会等にて道内スキーリゾート等のPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内スキー場に海外メディアを招聘、PR 	【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ	<ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊×3言語 ○サイクリングイベント等出典（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コースのPR 	【マラソン】 台湾 中国 香港	<ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ (3,000冊×2言語) ○現地マラソン大会出展（1ヶ国（台湾）） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地大会にブースを出展し道内大会をPR ○メディア招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コース等をPR
【スキー】 豪州 中国 米英	<ul style="list-style-type: none"> ○スキーイベント開催（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 各国販売店等で、道内スキーリゾートをPR ○セミナー・商談会（3ヶ国×1回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地商談会等にて道内スキーリゾート等のPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 道内スキー場に海外メディアを招聘、PR 										
【サイクリング】 台湾 シンガポール タイ	<ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3,000冊×3言語 ○サイクリングイベント等出典（3ヶ国） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地イベントに出展し、道内のコース等をPR ○メディア等招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コースのPR 										
【マラソン】 台湾 中国 香港	<ul style="list-style-type: none"> ○道内イベント紹介パンフレット作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ (3,000冊×2言語) ○現地マラソン大会出展（1ヶ国（台湾）） <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地大会にブースを出展し道内大会をPR ○メディア招聘（3ヶ国×4人） <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外メディア等を招聘し道内コース等をPR 										
担当課	観光局	R1(2019)予算額	43,130 千円	H30(2018)予算額	43,793 千円						

令和元年度（2019年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

28	○学校スポーツ振興事業費						
目的：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。							
事業概要等 (単位：千円)							
	区 分	事 業 内 容	予算額	H30(2018)実績			
全国大会	生徒引率旅費	中体連 高体連 (総合体育大会) 高体連 (選抜等大会) 定体連 全盲体連	33,241 24,466 6,320 1,668 429	302名 231名 103名 21名 5名	中国 中部 関東 福岡		
		・参加生徒の引率教員旅費		10,596			
		地区大会	生徒引率旅費	中体連	470	夏季 15種目 冬季 2種目	札幌市外 札幌市外
		全道大会	開催費	中体連 高体連 定体連	582 100	夏季 31種目 冬季 2種目 6/16~7/6 7種目	札幌市外 釧路市外 札幌市外
担当課		健康・体育課	R1(2019)予算額	77,872千円	H30(2018)予算額	86,850千円	

29	○学校体育推進事業費					
目的：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。						
事業概要等						
	区 分	目 的	事 業 内 容	H30(2018)実績		
	武道等指導推進事業 ～国委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度(2012年度)から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道・ダンス振興協議会及び武道講習会の実施 ・町道場等から学校への外部指導者派遣 ・体育教員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道ダンス・振興協議会の開催(2回開催) ・武道ダンス講習会 柔道3会場、ダンス2会場 ・地域の指導者の派遣 柔道等74校延べ117人 		
担当課		健康・体育課	R1(2019)予算額	9,026千円	H30(2018)予算額	10,759千円

30	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業（放課後子供教室推進事業費補助金）					
目的：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。						
事業概要等						
実施主体	項 目	事 業 内 容 等	補助率	H30(2018)実績		
市 町 村	放課後子供教室の実施 放課後子供教室の 備 品 整 備	全ての子どもを対象に活動拠点を提供 開設備品(カーペット、テレビ、机等)の整備	国1/3以内 道1/3以内 市町村1/3 以上	実施市町村・教室数(政令都市、中核市除く) ・69市町村 154教室 対象学校 (小学校188校) 中学校 18校		
	コーディネーターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整 (児童クラブとの調整)				
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等 (児童クラブ含む)(構成員:行政、教職員、児童クラブ関係者、PTA、地域住民等)				
北 海 道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討 (構成員:道教委、保福部、教職員、学識経験者等)	国 1/3 道 2/3	年3回開催 道内7会場、11回開催、参加者858名		
	指導者研修の実施	コーディネーター等への研修の実施				
担当課		義務教育課	R1(2019)予算額	64,876千円	H30(2018)予算額	73,784千円

31	○子どもの体力向上ボトムアップ事業費				
目的：学校・家庭・地域・行政が一体となって、本道児童生徒の状況について共通理解のもと、子どもたちの運動習慣の定着を図るとともに、体力向上に取り組む環境づくりを推進する。					
事業概要等					
区分	目的	事業内容			H30(2018)実績
実践研究検討会議	・児童生徒の体力等の状況及び改善に向けた取組や支援体制等の推進	・会議を2つの部会で構成 運動習慣形成部会：運動習慣の定着に向けた方策などの検討 授業改善部会：授業の充実に向けた方策などの検討 ・大学、プロスポーツ団体、体協、実践研究校等で組織			年2回開催
運動習慣形成プロジェクト事業	・運動に対する意欲向上に向けた学校の取組の改善・充実、運動習慣形成の促進	・運動やスポーツの魅力等を実感する児童生徒等向け講演の実施 ・児童生徒の企画による取組の実施 ・長期休業中における運動目標の設定など学校の教育活動外の取組の実施 ・普及・啓発資料の作成・配付			小学校4校 中学校3校 資料：HP
授業改善プロジェクト事業	・体育授業の改善に向けた実践研究や授業改善に資する指導資料の作成	・体育授業の充実に向けた教員向け指導資料の作成、配布 ・実践研究校における実践の成果の検証及び改善充実 ・大学教授等による実技指導や単元計画等に関する指導助言			小学校5校 中学校3校 高等学校4校 資料：HP
担当課	健康・体育課	R1(2019)予算額	8,446千円	H30(2018)予算額	10,144千円

32	○学校体育授業改善講習会費					
目的：学校における体育の実技内容について実践的な研修を行い、指導力の充実と向上を図るとともに、本道の子どもの体力を全国平均以上に高めるため、体力向上の要となる体育授業の充実を図る。						
事業概要等						
区分	対象	期間	会場	講座の設定	講座内容	参加人数
授業等改善講習会	教諭 (小・中・高・特)	2日	1管内	実技・座学講座 など8講座	器械運動 水泳 表現 体育理論等	各管内8名程度 (14管内×8)
担当課	健康・体育課	R1(2019)予算額	4,543千円	H30(2018)予算額	4,530千円	

33	○教育指導費(学校教育調査研究事業費)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業				
目的：2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際的な視野や共生の視点を持って社会に貢献できる人材を育成するため、本道においてオリンピック・パラリンピック教育を推進する。					
事業概要等					
区分	内容				H30(2018)実績
道教委 (地域拠点)	○北海道オリンピック・パラリンピック教育推進会議の開催(年2回) ○関係団体との連携を担うコーディネーターの全国セミナーへの派遣 ○教員を対象とした研修会(地域ワークショップ)の開催(年1回) ○推進拠点校の取組を掲載した普及啓発資料の作成・配布				会議：年2回 セミナー：年1回 ワーク：年1回 資料：HP
推進拠点校	○オリパラそのものについての学習 ○オリパラを通じた学習(スポーツの価値、外国の文化・言語・伝統・課題等)				小学校2校 中学校3校 高等学校2校 特別支援学校1校
推進協力校	○推進拠点校との交流・協議を行い、実践研究の成果を共有				小学校19校 中学校10校 高等学校7校 特別支援学校1校
担当課	健康・体育課	R1(2019)予算額	6,810千円	H30(2018)予算額	5,696千円

34	○平成31年度全国中学校体育大会全国中学校アイスホッケー大会開催費補助金（二定要求）				
目的：令和2年1月開催予定の平成31年度全国中学校体育大会第40回全国中学校アイスホッケー大会開催に対する補助を行う。					
事業概要等					
主 催		期 間	会 場	参加予定人数	予算額
(公財)日本中学校体育連盟、(公財)日本アイスホッケー連盟、北海道教育委員会、苫小牧市教育委員会		令和2年1月16日～19日	苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ	選手300名 観・コ-チ50名 大会役員等110名	事業費6,172 国500 道500
担当課	健康・体育課	R1(2019)予算額	1,000千円	H30(2018)予算額	—

35	○平成31年度全国高等学校総合体育大会スケート競技アイスホッケー競技選手権大会開催費補助金（二定要求）				
目的：令和2年1月開催予定の平成31年度全国高等学校総合体育大会第69回全国高等学校スケート競技アイスホッケー競技選手権大会開催に対する補助を行う。					
事業概要等					
主 催		期 間	会 場	参加予定人数	予算額
(公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本アイスホッケー連盟、北海道、北海道教育委員会、帯広市、帯広市教育委員会		令和2年1月予定	帯広の森アイスアリーナ 他	選手1,000名 観・コ-チ300名 大会役員等200名	事業費26,050 国3,200 道3,200
担当課	健康・体育課	R1(2019)予算額	6,400千円	H30(2018)予算額	—

36	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業				
目的：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。					
事業概要 (単位：千円)					
区分	概要	予算額	H30(2018)実績		
部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：20,241 中学校：16,278	部活動指導員配置実績 ・道立学校：111校178部活動179人 ・中学校：5市町7校12部活動12人		
指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	6,412			
部活動活性化プラットフォームの形成	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	816			
担当課	教育環境支援課	R1(2019)予算額	43,747千円	H30(2018)予算額	39,868千円

(うち当初予算額39,997千円)